

音声ソフトウェアのインストールで Java エラー または「Windows Error 3」が発生する

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

概要

このドキュメントでは、複数の Java がインストールされたマシンの特定の問題を解決できる特定の Java インストールを使用するために audium.exe を強制する方法について説明します。

前提条件

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Call Services, Universal Edition、および Cisco Unified Call Studio, Universal Edition に基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状：ユーザはWindowsを使用します。音声ソフトウェアのインストール時にエラーが表示されます。たとえば、audium.exeや、Javaの問題を示す別のインストーラなどです。このようなエラーメッセージの1つは次のとおりです。

Windows error 3 occurred while loading the Java VM

解決策：音声インストーラは、デフォルトではなく特定のJavaインストールを使用するように強制できます。これにより、サポートされているJavaバージョンを使用していることを確認できます。次の手順に従います。

1. コンソールを開きます(例：**Start -> Run... -> cmd**)。
2. インストーラファイルの場所に移動します。
3. LAX_VMオプションを使用してインストーラを実行し、その後に目的のjava.exeへの完全なパスを指定します。たとえば、

```
audium.exe LAX_VM "C:\Program Files\Java\j2re1.4.2_08\bin\java.exe"
```